

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

国語	観点別評価	「◎」優れている	「○」標準的	「△」やや劣る	
選定の観点	選定の視点	東書	学図	教出	光村
学習指導要領との関連	1 学習指導要領に示されている国語科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	◎
	2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	○	○	○
	3 「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	△	○	◎
	4 言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○	◎	○
内容	1 日常生活に必要な知識や技能が習得できるよう、日常生活と関連付けた工夫がなされているか。	○	○	○	◎
	2 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっているか。	◎	○	○	○
	3 語彙を豊かにし、言語感覚を養う工夫がなされているか。	○	○	◎	◎
	4 情報の整理の仕方や、原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる工夫がなされているか。	○	○	○	◎
	5 我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる工夫がなされているか。	○	◎	◎	◎
	6 図鑑や事典などを活用することができる内容となっているか。	○	○	○	○
構成・分量	1 内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○	○
	2 児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	△	○	◎
表記・表現	1 表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	◎	○	○	○
	2 文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	○	○
	3 ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	◎	△	○	○